Kirisuto Shimbun, Co.,Ltd. キリスト新聞社 since 1946

新刊のご案内　3月22日発売予定

ことばの力

キリスト教史・神学・スピリチュアリティ

関西学院大学キリスト教と文化研究センター［編］

現代社会における「ことばの力」の回復を目指して

「ことばの宗教」であるキリスト教において、「神のことば」「神に関わることば」はどのように理解されてきたのか。また、それらの言葉は、どのような文脈でどう語られ記されたのか。礼拝・典礼、文書、人々のコミュニケーションにおいて、どのような役割を果たし、どう世界に影響を与えてきたのか。7人の神学者が現代におけるキリスト教と「ことばをめぐる諸問題」に、歴史、組織・実践神学、スピリチュアリティの視点から立ち向かう。

目　次

新約聖書を語りなおす――塚本虎二による口語訳プロジェクト――　赤江 達也
オリゲネスとことば――神の像とそこに向かう生を求めて――　梶原 直美
揺らぐ言葉と説教者の権威――教皇ヨハネス22世の至福直観の教義をめぐる説教――　赤江 雄一
神のことばを神学する――その展開および限界に関する一考察――　加納 和寛
実践神学と証言――20世紀のドイツ語圏の実践神学に焦点をあてて――　橋本 祐樹
言葉とサクラメント――特にテゼ共同体の実践に注目して――　打樋 啓史
スピリチュアルの力――浮動する言葉と宗教の境界線――　Timothy O. Benedict

四六判・並製・166頁、定価1,760円（本体1,600円+税）　ISBN978-4-87395-814-9　C0080 ¥1600E（日キ販）